

令和5年第10回甲賀市教育委員会（臨時会）会議録

開催日時 令和5年8月22日（火）
午後3時00分から午後4時47分

開催場所 甲賀市役所 4階 教育委員会室

出席委員 教育長 立岡 秀寿
教育長職務代理者 松山 顕子
委員 野口 喜代美
委員 藤田 浩二
委員 池田 吉希

事務局出席者 教育部長 袖口 浩幸
次長（総務・管理担当） 松本 忠
次長（学校教育担当） 村地 昭彦
教育総務課長 田原 聖史
学校教育課長 松岡 和子
教育総務課係長 西川 蓉子
書記 教育総務課長補佐 神山 和夫

傍聴者 4名

議決・報告事項は次のとおりである。

1. 報告事項

（1）教科用図書第二採択地区協議会の経緯について

2. 協議事項

（1）議案第75号 令和6年度甲賀市立小中学校使用教科用図書の採択について

◎教育委員会会議

〔開会 午後 3 時 0 0 分〕

次長（総務・管理担当） 改めまして、皆さんこんにちは。本日は何かとご多用の中お集まりいただきましてありがとうございます。

ただ今から、令和 5 年第 1 0 回甲賀市教育委員会臨時会を開会いたします。まず始めに甲賀市市民憲章の唱和を行います。皆様ご起立ください。

（一同 市民憲章唱和）

次長（総務・管理担当） ありがとうございます。ご着席ください。

それでは、開会にあたりまして立岡教育長からご挨拶を賜り、引き続きまして議事の進行をお願いいたします。

教育長 みなさんこんにちは。先週定例会を開催させていただいたところであり、連日お集まりいただいておりますが、本日もこのように万障繰り合わせて本臨時会にご出席頂きありがとうございます。今回の教育委員会臨時会は、次年度より使用する小中学校の教科用図書採択にかかる会議であります。

今回の会議では、まずは、教科用図書第二採択地区協議会のこれまでの経緯について事務局よりご報告させていただきます。その後地区協議会にて選定されました教科書について事務局より説明を受け、質疑応答をさせていただき、甲賀市教育委員会として採択について協議をしまいたいと考えています。

皆様方には事前に教科書をお渡しさせていただき、熟読いただいた後、ご意見をまとめていただいて、そこで出されたご意見をもとに、地区協議会では出席した藤田委員と私から意見を述べさせていただきました。新しい指導要領にのっとり文部科学省の検定を通った教科書であり、いずれの教科書もさまざまな配慮や工夫がされてあることを、地区協議会の調査委員長報告でも再確認したところです。

これまでの検討から思いますことは、今回の教科書は、デジタルの活用を意識した内容が増えたのが大きな特徴です。QR コードの掲載も

非常に増えました。一人一台の端末の配布により、デジタル教科書の導入が始まろうとしています。教科書も、教える内容を列挙した形から、多くの情報に触れることができる学びのツールとなってきました。豊富な情報の提供、授業はもちろん、家庭学習でも力を発揮できそうです。一方、いろいろな情報や資料が、苦勞なく手に入れられることに慣れると、主体的な学びにつながらないとの懸念もあります。目的に応じて、図書館の利用や探求学習の仕方を教師が丁寧に指導することが大切であり、学校として、新しい教科書の機能の長所と短所とを見極めて、子どもの主体的な活動、考える力を伸ばすための有効な活用を目指すことが何より大切になってくると思いました。

本日は地区協議会にて選定された教科書を中心に、再度ご意見ご質問を出していただき、最終結論を出して行きたいと思えます。委員の皆様におかれましてはよろしくご審議のほどお願いいたします。

教育長 それでは、日程に従いまして議事に入らせていただきます。1. 報告事項（1）教科用図書第二採択地区協議会の経緯について事務局より説明をお願いします。

次長（学校教育担当） それでは経緯説明にはいりますが、まず、資料の確認を行います。資料につきましては、3種類です。一つ目が資料1で「議案第75号に関する内容」でございます。二つ目は、別紙1の標題「教科用図書第二採択地区協議会規程」の記載内容でございます。三つ目は、資料2の各種目ごとの「令和5年教科用図書第二採択地区調査委員会報告書」であります。よろしいでしょうか。

では、報告事項（1）教科用図書第二採択地区協議会の経緯について説明いたします。

公立の各小中学校で使用する教科用図書の採択については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の規定により、採択地区協議会が設置され、この協議会で行われた教科用図書選定の結果に基づき、各市町教育委員会で年度ごとに採択することになっており、本日の臨時教育委員会において決定いただくこととなります。

別紙1、1ページから2ページをお開きください。本市が所属する、

教科用図書第二採択地区協議会の規程を載せております。この教科用図書第二採択地区協議会は、草津市、栗東市、守山市、野洲市、湖南市、甲賀市の6市で構成されており、それぞれの教育長、教育委員代表、保護者代表を委員とする協議会です。この協議会において、第二採択地区内の各市立小中学校で使用する教科用図書が選定されます。4ページをお開きください。4ページが今年度の経緯となっております。

本年度は、小学校用教科書全教科の採択替えの年であり、さらに、小中学校「特別支援学級一般図書」の採択替えを行います。現在までに協議会を3回、代表協議会を1回、幹事会を3回開催しました。併せて、5月30日から7月9日にかけて、各市より選出した委員による調査委員会を開催し、厳正かつ精密な調査を行いました。7月31日と8月3日の協議会では、委員長より調査報告を受け選定し、8月3日には第二採択地区としての議決を行いました。

以上でございます。

教育長 　　ただ今、本日までの経緯について事務局から説明がありましたが、何かご質問などはございませんか。

（全委員 質問等なし）

教育長 　　それでは、2、協議事項（1）議案第75号 令和6年度甲賀市立小中学校使用教科用図書の採択について、に移ります。

まず、7月31日と8月3日に行われました「第2回、第3回の教科用図書第二採択地区協議会」の審議ならびに選定について事務局より説明願います。なお、これからの進め方についてであります。種目数が大変多いため、各種目ごとの説明の後、ご質問、ご意見をいただき、最後に採択の議決を諮ることとさせていただこうと思いますが、異議はございませんか。

（全委員 異議なし）

教育長 　　それでは、協議会において、調査委員長より報告がありました調査結果の概要について、事務局より説明願います。まず、小学校教科用図書であります。国語から説明願います。

次長（学校教育担当） では、国語から説明いたします。別紙1では、5ページから、また別紙2の国語の報告書をご覧ください。

まず選定をするにあたりましての調査の観点についてであります、各種目とも共通して大きく3点ございます。国語の場合は、別紙2の国語の報告書の2ページに示されているように、一つ目は、内容の取り扱いが適切か。二つ目は、デジタルコンテンツを含む資料や学習指導にかかわる構成等が適切か。三つ目は、第二採択地区の観点である「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」、「環境」などの現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか、であります。

各種目では、この3つの観点をさらに項目別に精査しそれぞれの観点項目についてAからCの3段階の評価がなされました。

国語について報告概要を説明いたします。別紙2の2ページからをご覧ください。

国語は、発行された教科用図書は3社。調査観点が10観点です。調査の結果、10観点中、「光村図書」はAが10個、「東京書籍」は7個、「教育出版」はAが0個となり、「光村図書」が最も良い評価となりました。2番目にA評価が多かったのは「東京書籍」です。

「光村図書」は、教材の扉絵に書かれているめあてや既習内容、リード文が簡潔なため、子どもたちが多すぎる情報を持たずに作品と出会うことができるということです。また、「季節の言葉」「伝えられてきた文化」「声に出して読もう」などでは、四季折々の言葉や古典作品、季節に合わせたくらし、行事、旬のもの、楽しみがイラスト写真とともに掲載されているところもあります。「読むこと」の単元末に、教材と関連した本が紹介されているため、読書への関心が高まるだけでなく、並行読書などの実施に繋げることができる工夫もありました。デジタル教材の「読むこと」では、作者のインタビューや補足資料の画像などQRコードで視聴することもできました。また、第二地区観点の現代的な課題についても、ユニバーサルデザイン、メディア、SDGsの達成に向けてを配置するなど、現代的な諸課題に対応していました。

「東京書籍」の特徴は、問題文、説明文がバランスよく配置され、

その内容が充実しているところにあります。学ぶ観点が「言葉の力」としてわかりやすく掲示されていることも特徴の一つです。単元末には、子どもたちの学習意欲が高まる言語活動が充実する内容となっていました。また、文字が小さい箇所にはユニバーサルデザインフォントを使用し、見易さや読みやすさにも配慮していました。デジタル教材として、音声だけでなくスピード調整、繰り返し、一時停止などの機能も充実していました。第二地区観点の現代的な諸課題についてもバランスよく取り上げられておりますが、どの学年も情報量や問題数などが多く、児童にとってすべてを消化できないこともあるのではないかと懸念があります。

「教育出版」の特徴は、6年間で子供が身につける言葉の力が「ここが大事」などで整理され、系統化されて示されているところです。また、子どもが、主体的・対話的に学び、言葉の力を伸ばすことができるような言語活動が手引きなどに具体的に示されているところです。さらに、自分自身と向き合うきっかけを作る書く活動のしかけがされており、国語科の各領域が相互補完的に結びつき、より多様な表現活動となる工夫がなされていました。「読書」のすすめとして「読書の広場」や巻末の「〇年生で読みたい本」では、発達段階に応じて様々な分野の本が多数用意されており、読書カードのデータをダウンロードすることができました。しかしながら、全体的にデジタル教材の取り扱いについて情報量が少ないように感じました。

トータルとしてバランスのよい仕上がりとなっていることから、3社の中で、「光村図書」が最も優れているという結果になりました。以上です。

教育長 ただ今、国語についての説明がありました。ご質問、ご意見はございませんか。

教育長職務代理者 3社とも、レイアウトに工夫がなされていたように思いました。見やすかったように思います。学年、年齢の発達に応じていろいろ工夫もされており、この学年だったらどういうものが見やすいか、どういふことに興味を惹かれやすいかとかそういうような工夫もされてい

たように感じたんですけれども、取り扱ってる題材、テーマとかそういう種類や量というのについては何かご意見が出ましたでしょうか。

次長（学校教育担当） 紙ベースとなる教科用図書の内容を中心に選考されていますが、各社デジタル教材で補完していくことも今日的に重要な情報源となっていることから、紙ベースとデジタル教材それぞれのバランスを総合的に評価されたと同っております。紙ベースとなる協会の図書の内容を中心に選考されておりますが、先ほどご説明させていただいた通り各社デジタル教材がたくさん準備されております。ただ、デジタル教材は補完的に扱うということでもありますので、本質的に重要な情報源となっているという部分から、紙ベースとデジタル教材それぞれのバランスを総合的に評価されたと同っております。

教育長 他にご質問、ご意見はございませんか。

藤田委員 調査委員会では、学習の流れ、特に「めあて」や「ふりかえり」などの子どもたちの思考の流れを支援していく工夫について話題になりましたか。

次長（学校教育担当） 話題になりました。例えば「光村図書」ではマークを用いてわかりやすく配置するとともに「問いをもとう」と学習課題を明確にしています。「教育出版」でも、単元ごとに学習の流れが見開きで掲載されているため、子どもが見通しをもって学習に取り組める工夫がされています。「東京書籍」においても学ぶ観点が「言葉の力」としてわかりやすく掲示されているところも、その特徴の一つと言えます。

教育長 他にご質問、ご意見はございませんか。

ここでは「光村図書」とのことですが、それに対する反対のご意見などはよろしいですか。

特にないようですので、次に書写の説明を事務局からお願いします。

次長（学校教育担当） 続きまして書写です。別紙2では、9ページからをご覧ください。

発行された教科用図書は3社。調査観点が8観点です。調査の結果、8観点中「東京書籍」と「光村図書」はAが7個、「教育出版」は3個となり、「東京書籍」と「光村図書」が全ての観点において優れていま

した。選定されましたのは、「光村図書」の「書写」であります。

「光村図書」は、手本の文字は、均整が取れていて美しい文字になっています。学習のねらいを焦点化しその学習に必要な情報を効果的に示すことで書写の力を育成できるよう構成されています。デジタルコンテンツも豊富で、筆使いを説明する動画は2方向から撮影されていてポイントを確認しやすくなっています。また、書写に関するSDGs、アイヌ文化などの内容に加え、今日的な課題を扱った内容が充実しています。4年生の毛筆学習の写真に外国人の子どもをモデルとしているところも新鮮でした。

「東京書籍」は、手本の文字は均整が取れており美しさがありません。ユニバーサルデザインの視点におき、鉛筆の持ち方のページで、左右どちらの持ち方も掲載しており、左利きの児童に対しての配慮がうかがえます。デジタルコンテンツについても、毛筆でナレーション付きの動画があつて、運筆方法を理解しやすくする工夫がなされています。4年生以上では、ごみ問題や、他国の暮らしを取り上げ、環境や国際理解をはじめ多文化共生の面での配慮もなされています。

「教育出版」は、字形や筆順・運筆に関する留意点や学習者への問いかけなどが丁寧に細かく記述されています。多くの箇所UDフォントを使用したり、判読しやすい配色を考慮したりするなど配慮が見られます。デジタルコンテンツや扱う題材についても興味づけや理解しやすさに工夫が見られ、今日的な課題に関する素材も多く扱っています。

3社とも検定を通っている教科書ではありますが、「東京書籍」については、1, 2年生で手本に使用されている文字の色調が淡く、特に青やグレーの色が見にくいことや、3年生以上でも例示の文字に使用している水色、ピンクが薄いことなど、色弱の度合いも個人差が大きいため、より明瞭な色遣いであることが望ましいと考えます。

「光村図書」は、児童の関心意欲を高めること、他教科や生活場面で活用することを重視しながら、課題解決学習の視点から主体的な学びに導いていると考えます。こうしたことから、書写の力を着実に育

成することが可能であると考察し、「光村図書」が最も優れているという結果になりました。以上です。

教育長 　　ただ今、書写についての説明がありました。ご質問、ご意見はございませんか。

教育長職務代理者 各社とも書写についてはデジタルコンテンツが多いように思われますけれども、それに関しての何か評価というか、話が出ましたでしょうか。

次長（学校教育担当） 確かに、各社ともデジタルコンテンツに関しては、工夫と充実が見られるところです。観点⑦において、「児童にとって扱いやすく、学習に対する理解や意欲の面からの工夫・配慮がなされているか」という視点で考察しました。ナレーションやアニメーション、学習の進め方についての解説動画など様々な工夫と配慮が見られ甲乙つけがたいレベルとも言えます。ただ、そもそもデジタルコンテンツは補助的に活用することが想定されることから、「光村図書」のような運筆を示す動画が無音でナレーションがないことで、指導者の扱い方次第で、途中で動画を停止させ児童に問いかける場を設けるなどの多様な活用の仕方も可能になるという評価もありました。

教育長 　　デジタルコンテンツの使い方についても考察がありました。他にご質問、ご意見はございませんか。

野口委員 　　この第二採択地区なんですけれども、この中ではいろんな観点が先ほどの説明から設けられていたと思うんですが、その中で多様性の尊重という言葉がありました。調査委員会の中でどんな話し合いがされたのでしょうか。

次長（学校教育担当） 利き手に対する配慮や、写真やイラストに登場する人物の着衣について、男女の固定観念にとらわれない色や形にしたりするなど、ユニバーサルデザインや多様性について強く意識されているところが見られます。先ほども説明させていただいたことに重複しますが、外国人モデルを積極的に投入している場面もあり、書写のもつイメージを多様化させていることにつながっているものと思われれます。

教育長 　　4年生のところですね。ここでは「光村図書」とのことですが、他

にご質問、ご意見はございませんか。

特にないようですので、次に社会の説明を事務局からお願いします。
次長（学校教育担当）続きます社会です。別紙2では、19ページからをご覧ください。

社会は、発行された教科用図書は3社。調査観点が9観点です。調査の結果、9観点中「日本文教出版」はAが9個、「東京書籍」は8個、「教育出版」は7個となり、日本文教出版が最も良い評価となりました。2番目にA評価が多かったのは「東京書籍」です。

日本文教出版は、社会科学習において大切な資料である写真やイラストが鮮明で読み取りやすくなっています。人権問題や平和学習において、丁寧に記載されており、様々な角度から考えることができるようになっています。3年生の教科書では「湖南広域消防局中消防署と大宝東小学校」が14ページにわたって取り上げられており、児童の興味を喚起します。他にも彦根子ども議会、雨森芳洲や大津京、びわこのヨシといった身近な事例が多数掲載されています。SDGsについての学びやデジタルコンテンツによる授業展開への広まりや深まりが可能となる点も特徴といえます。

「東京書籍」は、5、6年生の教科書が分冊になり健康面に配慮されています。しかし、分冊になっているため、学習したことを振り返り学習するには不向きです。

単元導入時の写真は非常にインパクトがあり、また、鮮明な写真やイラストはとても見やすいのが特徴といえます。地域性を鑑み、選択教材が多く配置されています。しかしながら、4年生の自然災害で地震を選択した場合や、5年生の情報産業で新聞社を選択した場合などは情報量が少ないといった選択しづらい面もあります。働く人の思いや願いについて、顔写真付きで掲載されているところや、人権問題、環境問題、平和学習などに関する表記は丁寧で高い評価となった反面、情報量が他社と比較するとやや少ないという点もあげられていました。

「教育出版」は、重さについては3社中、最も重くページ数も多いです。主に中学年で学ぶ様々な職業について、女性参画がうかがえる

写真が多く掲載されていきました。ただ、他社と比較して、写真やイラストに印刷がややくすんだ感じがうかがえ、印刷の濃度も濃いため全体的に読みづらいのではないかという懸念がありました。歴史学習の白黒写真をカラー化して用いているのは本書のみで、当時の出来事がわかりやすく、親しみをもって読むことができると思われま

す。以上のことから、新学習指導要領の趣旨に一番準じており、第二採択地区に応じた社会的事象を取り上げていることから、「日本文教出版」が最も優れているという結果になりました。以上です。

教育長 　　ただ今、社会についての説明がありました

が、ご質問、ご意見はございませんか。

野口委員 　　子どもたちが学ぶ意欲それから関心、これからどんな見通しなどを持つかというのは、非常に大事で、その視点に立った時に新しい教材と出会って教科書は非常に大きな役割を果たすものと思います。3社ということでしたけど、どのような特徴や評価が委員会からなされたか教えてください。

次長（学校教育担当） 「東京書籍」では、子どもたちに人気のキャラクターを効果的に活用し、学習の流れに沿って思考しやすい工夫がされていました。「学びのポイント」を見開きで二項目ずつ示し、学習内容の見通しがつきやすくしているところも評価できる

ところでした。日本文教出版では、学習の進め方がページ下に示され、学習の見通しが可視化され、自分の思考の流れに合わせて学習できる構成となっています。「考えようSDGs」では「目標シール」を使ってみよう！により可視化の工夫も意欲付けには大きな効果が期待できる

ところ

教育長 　　他にご質問、ご意見はございませんか。

原案では日本文教出版ということですがよろしいですか。

特にないようですので、次に地図の説明を事務局からお願いします。

次長（学校教育担当） 続きまして地図です。別紙2では、15ページからをご覧ください。

地図は、発行された教科用図書は2社。調査観点が8観点です。調査の結果、8観点中「帝国書院」はAが8個、「東京書籍」は4個とな

り、帝国書院が高い評価となりました。

「東京書籍」は、「ホップステップジャンプ」のコーナーを随所に配置し70問の課題に取り組み、地図活用の知識技能が身に付けられるようにしている一方、「帝国書院」では「地図マスターへの道」のコーナーで100問を設定していることに加え、立体感を感じさせる彩色が施されています。「東京書籍」は見開き3ページで大きな日本列島全体の災害地図から災害の要因や防災対策について考えさせるようにしています。帝国書院は巻末の統計資料や気候・産業のグラフ数値が最新のデータである一方、「東京書籍」は部分によっては過去のデータを利用していました。「東京書籍」は表やグラフの色合いが濃く、読み取りに多くの情報が目に入ってくることに對して、帝国書院は全体的に色合いが柔らかく、知りたい情報が目に入りやすいとの評価がありました。

以上のことから、「帝国書院」が良い評価となりました。以上です。

教育長

ただ今、地図についての説明がありました。ご質問、ご意見はございませんか。

藤田委員

地図帳は、4年間使用する特殊な教科書となります。3年生から6年生まで、幅広い経験や発達段階の違う子どもたちに応じて、地図にかかわる約束事やルールやきまりなどを入れてくれていると思いますが、2社の工夫や特徴があれば教えてください。

次長（学校教育担当）

両社とも、3年生から使用していくため難解な表現や、文章表記については極力さげ、平易なものとする配慮がなされています。漢字の読み仮名についても「東京書籍」は3年生以上の新出漢字にはルビうちされています。「帝国書院」は、ほぼ全ての漢字にルビうちされています。また、「東京書籍」は8ページ、「帝国書院」は14ページにわたって、地図の見方や決まりなどが表記されています。「帝国書院」は文字のフォントも大きくレイアウトにゆとりが見られ、下学年でも理解を促す構成となっています。

教育長

他にご質問、ご意見はございませんか。事務局からは「帝国書院」の地図が報告されていますが、他にご質問、ご意見はございませんか。

特にないようですので、続きまして算数の説明を事務局からお願い
します。

次長（学校教育担当） 続きまして算数です。別紙2では、26ページからをご覧
ください。

算数は、発行された教科用図書は6社。調査観点が8観点です。調
査の結果、8観点中「大日本図書」はAが6個、「東京書籍」は3個、
「啓林館」「日本文教出版」はそれぞれ2個、「学校図書」「教育出版」
は0個となり、「大日本図書」が最も良い評価となりました。2番目に
A評価が多かったのは「東京書籍」です。評価点の上位である2社に
ついて詳細をお伝えいたします。

「大日本図書」は、基礎的・基本的な知識及び技能を身に着けられ
るように十分な量の問題があり、習熟に合わせて取り組めるようにな
っています。また思考力・判断力・表現力を生かした一連の問題発見・
解決の学習の流れになっていて、生活場面での算数を活用する問題も
掲載されています。デジタルコンテンツも豊富で前学年の内容や主問
題について、動画やアニメーションで確認できるようになっているな
ど、紙面とは別のアプローチで学習の理解を深めたり、技能を定着さ
せたりできるようになっています。

「東京書籍」も、基礎的・基本的な知識及び技能を身に着けられる
ように十分な量の問題があります。単元の導入場面では、これから学
習する内容を「問い」として示し、段階的に学びが深められるよう、
筋道を立てて考えやすく工夫され、また、自分や友達の考えを説明す
る活動が設定されているなど、効率的に言語活動を取り入れています。
単元末には、自分の生活と関連付けて、自分の学びを次の学習の意欲
に繋げられるよう設定されています。デジタルコンテンツについては、
一部の単元の導入で課題意識を持たせる動画があり、練習問題の答え
合わせ機能を備えているなど数的なコンテンツが充実しています。

以上のことから、指導要領にかかる観点1から5のすべてでA評価、
第二採択地区独自設定の観点で高評価となった「大日本図書」が最も
優れているという結果になりました。以上です。

教育長 　　ただ今、算数についての説明がありました。ご質問、ご意見はございませんか。

池田委員 　　算数は学年を重ねるごとに積み上げていく科目かと思いますが、どうしても算数は苦手意識を持つ子どもがいる場合など、そうした子どもたちへの配慮や、意識付けというか、苦手意識をなくすような意識付けについて、調査委員会ではどのような意見が出ていましたか。

次長（学校教育担当） 　　単元導入において身の回りの事象から課題を導く流れであったり、数学的な見方・考え方の視点を「考えモンスター」というキャラクター化によってパターン化して示すことで児童が楽しみながら学習に臨める工夫がなされていました。「大日本図書」では「算数玉手箱」で日常のつながりが感じられる題材が多く、効果的であるとの見方もありました。

教育長 　　事務局案は「大日本図書」ということですが、他にご質問、ご意見はございませんか。

　　特にないようですので、次に理科の説明を事務局からお願いします。

次長（学校教育担当） 　　続きまして理科です。別紙2では、34ページからをご覧ください。

　　理科は、発行された教科用図書は6社。調査観点が10観点です。調査の結果、10観点中「東京書籍」はAが8個、「啓林館」は7個、「大日本図書」「学校図書」はそれぞれ5個、「教育出版」は2個となり、「東京書籍」が最も良い評価となりました。2番目にA評価が多かったのが「啓林館」です。なお、「信州教育出版」は、7月中旬まで見本本が配本されなかったことと、出版社の地元である長野県内の採択を目指して作成されたものであることから、今回、第二採択地区における調査・選定対象から外すこととなりました。それでは、評価の高かった2社について詳細をお伝えいたします。

　　「東京書籍」は、身近な自然や暮らしから問題を見出し主体的・対話的な学びによって科学的な見方考え方を生かして解決できるように構成されています。6年生の61ページでは「問題をつかもう」で児童の問題の見出しを引き出す工夫がなされており、62ページにはキ

キャラクターの吹き出しで施行する際の視点について示されています。そして、児童の疑問、気づいたこと、考えたことを交流する場面で発表や話し合いを促し、学習中の気づきをもとに児童の意見や考えの交流が深まるように工夫されています。続く63ページのように観察方法などが写真やイラストを使って説明されており、動画での解説もあります。すべての単元においてどの学習場面にもコンテンツを活用して児童の理解を深める工夫がなされており、SDGsや防災といった今日的課題に対する意識が高まるコラムも充実しています。

「啓林館」は、単元ごとに「まとめノート」のページを設け、文や図、表などを活用したノートのまとめ方を例示しています。学習活動の見だしや予想、考察場面において、キャラクターの吹き出しなどで自然事象相互の関係や共通点、相違点について示すことで、児童が理科の見方・考え方を働かせることができるように工夫がなされていますが、話し合い、交流を促す記述としてはやや少ないです。ユニバーサルデザインの視点から配慮がなされたフォントやカラーとなっており、多様な立場の人の写真やイラストをバランスよく使用し適切な配慮がなされていますが、ページ数に対して、写真が少ないとの意見が出されていました。

以上の結果を鑑み、児童・教員の理科離れが進んでいる昨今、児童が科学的な見方・考え方を働かせて主体的に学べるような構成であり、理科が専門でない教員にとっても使いやすく適切なものとして、「東京書籍」が最も優れているという結果になりました。

教育長 ただ今、理科についての説明がありました。ご質問、ご意見はございませんか。

池田委員 理科は問題解決の過程が重要であるといえますが、各社ともそれぞれの工夫や配慮を凝らしていることと思います。調査委員会では、どのような評価がされていたか。

次長（学校教育担当） 「東京書籍」では、身近な場面から問題意識を抱き、キャラクターの吹き出しに沿って思考の流れを支援しながら、無理なく自然な形で、比較したり、条件づけたりしながら結論を導き出す構成と

なっています。「啓林館」でも、キャラクターの吹き出しを効果的に活用し児童が理科の見方・考え方を働かせることができるように工夫されていますが、それぞれの学習の流れの中で、特に重きをおくポイントや、バランスは各社で評価が分かれるところでした。

教育長

いずれも思考の流れについては配慮がなされているということでしたが事務局からは「東京書籍」と提案されています。他にご質問、ご意見はございませんか。

特にないようですので、次に生活の説明を事務局からお願いします。

次長（学校教育担当） 続きまして生活です。別紙2では、42ページからをご覧ください。

生活は、発行された教科用図書は7社。調査観点が6観点です。調査の結果、6観点中「東京書籍」はAが6個、「啓林館」はAが5個、「教育出版」「大日本図書」が4個、「学校図書」「光村図書」が2個となり、「東京書籍」と「啓林館」が全ての観点において優れていました。なお、「信州教育出版」は、7月中旬まで見本本が配本されなかったことと、出版社の地元である長野県内の採択を目指して作成されたものであることから、今回、第二採択地区における調査・選定対象から外すこととなりました。それでは、評価が高かった2社の詳細をお伝えいたします。

「啓林館」は、新指導要領に提示される新たな3観点のいずれにおいても工夫や配慮がみられ、高い評価結果となりました。特に季節の行事を大変大事に取り扱っているのが特徴的でもありました。観点6の環境問題や食料問題も取り上げ、自分自身の工夫がどう関係するののかについて多くの情報が取り上げられていました。デジタルコンテンツは情報量が多すぎて活用しきれない課題が意見としてありました。

「東京書籍」は、新指導要領で提示された3観点のいずれにおいても、工夫されています。鮮明な写真や図はとても見やすく、学びを家庭での活動に繋げる工夫も多くあり、表現のバリエーションも豊富です。デジタル情報もNHK for school 動画も含めて多岐にわたっています。多様な他者とかかわる活動が写真を含め多く掲載されており総

合すると最も高い評価となる結果でした。第二採択地区の観点においても持続可能な社会の担い手を育むための資料が多く掲載されていました。以上のことから、「東京書籍」が最も優れているという結果になりました。

教育長 「東京書籍」「啓林館」が上位であったとのことですが、ただ今、生活についての説明がありましたが、ご質問、ご意見はございませんか。

藤田委員 生活科というのは、やってみようというような感じで、自分で体験していくということが主体となるような、勉強か学習かなと思います。外での活動とか、いろんな道具を使つての活動でいろんな制作活動をしていく中では、やはり事故の危険もあるかなと思います。けがのないようにというところが大事なところだと思いますが、その意味ではこの教科書の中では、どのような特徴がありましたでしょうか。

次長（学校教育担当） 各社とも「やくそく」や、「気をつけよう」といった注意喚起を促すコーナーを単元導入時や活動に向かうページで掲載されています。中でも「東京書籍」はページ下部に透かしとして児童には目立たないよう、「保護者の皆様へ」という注意のコメントが加えられています。家庭と学校の連携を密にすることや、学校で学んだことを家庭や日常生活に繋げていくうえでも大変効果的な紙面構成であると評価がなされていました。

教育長 安全への配慮についても保護者への啓発も含めて教科書にも掲載されているとのことですが、「東京書籍」が最も優れた本ということですが、他にご質問、ご意見はございませんか。

特にないようですので、次に音楽の説明を事務局からお願いします。

次長（学校教育担当） 続きまして音楽です。別紙2では、52ページからをご覧ください。

音楽は、発行された教科用図書は2社。調査観点が8観点です。調査の結果、8観点中「教育芸術社」はAが5個、「教育出版」は4個、となり、「教育芸術社」が優れていました。

観点①では、「教育芸術社」は、各学年にバランスよく配置され、題材や教材と的確に関連づけて身に付けられるようになっていました。

「教育出版」は、低学年では、難易度が高い教材曲が含まれ、段階をおった知識理解を押さえるうえで、難しさが感じられました。

観点②では、「教育出版」の3年生以上で十六分音符や十六分休符を扱う難易度が高い楽曲が取りあげられていることに対して、「教育芸術社」では、四分音符、八分音符が中心に扱われており、表現の技能を高めるのに適しています。

観点③では、「教育出版」では、写真を効果的に取り入れ、楽曲のイメージを持たせる配慮がなされていました。また、教育芸術社では、表現及び芸術の活動を関連させながら、無理なく音楽づくりができる教材設定になっていました。

観点④は、どちらも音楽の楽しさやよさを見いだせる教材・学習内容でしたが、「教育芸術社」はイラストの浮き出しの中に、児童から発せられるべき気づきが多く書かれており、自由な発想やリズムや強弱など、発達段階よりも難しい構成になっている部分がありました。

観点⑥⑦⑧については、どちらも配慮された構成になっていました。特に二次元コードの活用に対して「教育芸術社」は教材曲の主旋律を音で確認することができたり、再生速度を変更することができたりしました。また、鑑賞曲も重なる旋律の1パートのみ聞くことができ、旋律を図形などで示す絵譜で音の動きを確認することもできます。

以上のことから、「教育芸術社」が優れているという結果になりました。

教育長 音楽についての説明がありました。ご質問、ご意見はございませんか。

教育長職務代理者 日頃音楽を扱っているものとしましては非常に興味深く見せていただきました。音楽を通して表現力も身につけていただきたいと思いますが、いろいろ難しい内容がたくさん入ってるなっていうのは私も感じたところです。どの曲、どの題材を使うとか、そういうことによっても難易度やどこまで表現できるかというのは変わってくると思うんですけども、授業の学習の進め方とか、どの教材やどの題材を使うとか、そういう観点から何か話し合いは出ましたでしょうか。

次長（学校教育担当） ご指摘のとおり「教育出版社」は、ねらいや楽曲がやや高度で難易度が高い選択が目立ったような評価がなされていました。一方、「教育芸術社」は子どもの関心をつかみやすい題材設定であり楽曲もバランスが取れているといった意見が出されていました。

教育長 難易度、子どもの進めやすさといったところで「教育芸術社」という判断のようでした。他にご質問、ご意見はございませんか。

特にないようですので、次に図画工作の説明を事務局からお願いします。

次長（学校教育担当） 続きまして図画工作です。別紙2では、58ページからをご覧ください。

図画工作は、発行された教科用図書は2社。調査観点が8観点です。調査の結果、8観点中「日本文教出版」はAが6個、「開隆堂」は5個となり、「日本文教出版」が優れていました。

観点1については、両社とも児童が制作イメージを持ちやすい工夫がなされています。特に「日本文教出版」は、作品例が多く児童が造形的な視点が意識できる工夫が見られます。また、すべての活動において大切な部分が観点別に示されるなど、学習指導要領の趣旨に沿ってまとめられています。

観点3については、様々な児童作品が掲載され、発想や構想のヒントが盛り込まれています。特に「開隆堂」は完成した写真が多く、児童は学習課題をイメージしやすいです。ただ、制作過程の写真が少ないため作品づくりの流れがつかみにくい一方、「日本文教出版」は、学習過程の写真が多く「図工のみかた」というコーナーがあり、児童の発想や構想を広げるのに適しています。

観点5については、両社とも配色やレイアウトなど工夫や配慮が見られるとともに高評価でしたが、「日本文教出版」は、高学年の教科書に甲賀市のアーティストが取り上げられていて第二採択地区としては美術・芸術が身近なものに感じられるようになっています。

観点6については、「開隆堂」は材料についてイラストつきで細かく表記されています。「日本文教出版」は文字は小さめですが大事なこと

は大きな字で書くなどメリハリがあります。

以上のことから、「日本文教出版」が最も優れているという結果になりました。

教育長 　　ただ今、図画工作についての説明がありました。「日本文教出版」との報告でありましたがご質問、ご意見はございませんか。

野口委員 　　甲賀市にあるやまなみ工房が取りあげられている点について、地元
に根差した、素晴らしい力だと感銘を受けました。教科書を見させて
もらうと、学年が上がるにつれ、制作過程で使う素材は多岐にわたっ
ていて興味があります。素材だけでなく、命を守ることにもつながり
ますが、用具も多彩で彫刻刀などいろんなものがあります。後ろのほ
うの安全な使い方について子供たちの目から見て表記がどういう風に
されているかに興味があって、そういった意味で調査委員会ではどの
ような意見が出ていたのでしょうか。

次長（学校教育担当） 　両社とも用具の適切かつ安全な使用については、けが防止
のためポイントがわかりやすくなるレイアウトや表現の仕方に重点を
置いていました。例えば彫刻刀の扱い方については、「開隆堂」が文章
での表記である一方、「日本文教出版」では、イラストや写真を用いて
危険な場面を想定させ、より理解を促す表記となっていたところも評
価の一つとされています。

教育長 　　作品の掲示というよりは制作過程の写真が多く、構想を広げる点、
あるいは安全管理の点というところで「日本文教出版」という報告で
した。他にご質問、ご意見はございませんか。

　　特にないようですので、続いて家庭の説明を事務局からお願いしま
す。

次長（学校教育担当） 　続きまして家庭科です。別紙2では、62ページからをご覧
ください。

　　家庭は、発行された教科用図書は2社。調査観点が9観点です。調
査の結果、「開隆堂」は9観点中Aが7個、「東京書籍」は4個、とな
り、「開隆堂」が優れていました。まず、教科書のサイズや重さですが、
両社ともA4判で、「開隆堂」が153ページ364グラム、「東京書籍」

は 149 ページ、344 グラムとなっています。最近は子どもたちの通学負荷を減らすため、頻繁に使わない教科書については学校に置いていくことが多いため、大きさや重さについては特に問題はないという結論になりました。題材の構成の仕方を見ると、「東京書籍」は 2 年間を見通した展開・構成で 5 年生 8 題材、6 年生 7 題材を通し番号で示しており、2 年間を見通した題材構成ができる良さがあります。一方、「開隆堂」は、5 年生の学習を発展させて 6 年生の学習に向かう題材構成になっており、学習する時期や季節に応じた配列になっています。家庭科は生活と結び付けて考える場面が多いので、その時期や季節に合わせやすい「開隆堂」のほうが適切であるという意見が多かったです。

基礎的な技能の習得に関わる内容では、「東京書籍」は調理や作業をしている手を実物大の写真で掲載しており、自分の手を重ねて確認できるようにになっています。「開隆堂」は制作や調理の手順が横一列に写真やイラストで提示されていたり、文字や色で協調されていたりするので、よりわかりやすく見通しをもって取り組めるとの意見が多かったです。

第二地区の観点では、「東京書籍」がそれぞれの題材の中に環境に配慮して生活する工夫が紹介されていました。男性の日傘のイラストや、エアコンの使い方など今日的な社会の生活状況に合わせた表現がありました。「開隆堂」では障がい者や外国人などがイラストに描かれていたり、外国食を掲載したりして、多様な視点で他者理解が深められるような工夫が見られました。また、学校給食の献立をモデルとしており、家庭環境の差なく学習に入れることができるとの意見もありました。

デジタルコンテンツにおいては、両社とも内容、量ともに申し分のない評価でしたが QR コードで読み取る動画については「東京書籍」は、必要なところだけ取り出すことができない一方、「開隆堂」は動画が細かく分かれており、ポイントを絞って活用できるとの声がありました。

以上のことから、「開隆堂」が優れているという結果になりました。

教育長 　　ただ今、家庭についての説明がありました。ご質問、ご意見はございませんか。

教育長職務代理者 家庭科は教科名のとおり、家庭生活とか、家庭の中の事と学習が密接に結びついていて、家庭の中での活動を、そのままもう一度学習しようということになるかと思えます。例えば、お家でお料理している時など、そういう実生活の中で何かを感じたり問題意識を持ち、今度は学習の中で得た成果を家庭に戻していくというような流れができればいいなと思えます。家庭生活と学習を連携させる役割があるのかと思うんですが、そのあたりの観点からはお話は出ましたでしょうか。

次長（学校教育担当） 「東京書籍」では「夏休みわくわくチャレンジ」や「生活を変えるチャンス」など実生活に結び付けた実践の場を設定し、子どもたちが自ら課題解決に向かえる内容構成となっています。また、「開隆堂」は応用の調理例や作品例の掲載が豊富であるとともに、発展的な学習や家庭での実践に活用できる構成にもなっています。いずれも最近希薄となっている家庭の役割、家庭教育に対して一石を投じる役割を果たしているという声も上がっていました。

教育長 　　家庭での役割であるとか家庭教育について家族の役割を果たしながら進めていく、両社ともいいところがあるということでした。大きな違いは単元構成、動画についても見やすさの差などがあり、事務局としては「開隆堂」ということでした。他にご質問、ご意見はございませんか。

特にないようですので、次に保健の説明を事務局からお願いします。

次長（学校教育担当） 続きまして保健です。別紙2では、66ページからをご覧ください。

保健は、発行された教科用図書は6社。調査観点が9観点です。調査の結果、9観点中、「東京書籍」はAが9個、「大修館書店」は7個、「光文書院」「学研」は5個、「大日本図書」は3個、「文教社」は1個となり、「東京書籍」が最も良い評価となりました。2番目にA評価が多かったのは「学研」です。評価の高かった2社についてご報告いた

します。

「東京書籍」は、家庭内など、身近でできる運動が多く記載されており、児童が実生活に生かしやすい、将来の夢につながるためには運動が必要など、自分の生活や健康における運動の必要性に触れながら学習が展開されています。毎時間ごとに1ページの資料をもとに一目で学習課題がつかめる工夫がされています。第二地区の観点である多様性についても肌の色の違いや、車いすの利用などが挿絵の中に多く使われており、重視されていることがうかがえます。

次に「大修館書店」です。不安や悩みの対処の方法には、不安を相談する方法だけでなく、友達の相談を受け止めるときの方法も記載されており分かりやすい表現となっています。けがに関して、手当の手順一つひとつにイラストが掲載されており、イメージしやすくなっています。学習のふり返りでは、学んだことを現在や将来の生活に生かすことができるように、自分の生活を見直すなどして自己の課題を修正できる課題を設定されています。

第二採択地区観点では、「もっと学びを広げよう！深めよう！」のコーナーにおいて、知識を深めるだけでなく、いじめや差別の視点からも配慮された記載が多く、特に新型コロナウイルスに関する世間の動きについて冷静な判断を持つことの重要性も伝えられています。

特に保健では、身近な内容を取り上げ学習した内容を実生活に生かしていくということが必要であり、総合的に「東京書籍」が最も適切であるという結果になりました。以上です。

教育長 保健についての説明がありましたが、ご質問、ご意見はございませんか。

藤田委員 第二採択地区の観点である、多様なかかわり方、「共生」についての視点についてそれぞれ配慮されていると思いますが、どのような評価でしたか。

次長（学校教育担当） 各社とも、ジェンダー問題、新型コロナウイルス感染症、ユニバーサルデザイン、エイズなど様々な現代的課題について取り上げ、児童が自ら考え、望ましい生き方を探るべく紙面構成されていま

した。中でも「東京書籍」では、毎回、学習課題が示され、すべての児童が学習の流れをつかみやすくするよう工夫がされていました。

教育長 他にご質問、ご意見はございませんか。

池田委員 デジタル教材の部分、観点でいうと⑧の部分ですが、各社とも工夫を凝らされているところですが、意見としてどのようなことが出ていましたか。

次長(学校教育担当) 複数の教科書会社には各省庁のHPリンクが施されていたり、学習の終わりにクイズ形式で振り返りを用意している「大修館書店」や、「けが防止」において実際の救急通報の疑似体験できるシュミレーション資料を用意したりする学研などがありました。「東京書籍」では、豊富なコンテンツを用意しながら、二次元コードに説明書きや動画資料に字幕を付けるなど、理解しやすい工夫が見られました。

教育長 二次元コードについてはそれぞれ工夫がされていたという点ですが、決め手となっていたところは身近な内容を取り入れて学習した内容を実生活に生かすというところが「東京書籍」の優れていたところだったかと思います。報告では「東京書籍」ですが、他にご質問、ご意見はございませんか。

特にないようですので、次に外国語の説明を事務局からお願いします。

次長(学校教育担当) 続きまして外国語です。別紙2では、74ページからをご覧ください。

外国語は、発行された教科用図書は6社。調査観点が10観点です。調査の結果、10観点中、「光村図書」はAが9個、「東京書籍」は8個、「開隆堂」は7個、「三省堂」「啓林館」はそれぞれ3個、「教育出版」は1個となり、「光村図書」が最も良い評価となりました。2番目にA評価が多かったのは「東京書籍」です。評価の高かった2社についてご報告いたします。

「東京書籍」は、単元の最初に明確なゴールが示されており、達成に向けたスモールステップが設定されているので主体的に学習しやすくなっています。十分な聞く活動、映像による情報の補完も多く、や

りとりや発表につながりがよくなっています。国際文化の紹介も毎単
元末にあり、人権についてや、絶滅危惧種などの世界の課題について
も扱われています。紙面は見やすく、支援が必要な児童にも配慮され
ています。4線の幅、行間、図やイラスト、写真の配置も適切でした。
デジタル教材で字幕付きの動画やカラオケ動画も視聴できるようにな
っています。読む活動については学年を追って段階的にはなっている
ものの、工夫や、量も少ない印象を受けました。デジタル教材につい
ては、チャンツが全単元同じリズムであったり、単語が一つずつ戻ら
ないと音声聞けない、速さが選択できなかつたりといった使いづら
さを感じました。

「光村図書」は、各単元が段階的に言語活動を繰り返し、「話すこと」
「書くこと」につながる構成になっています。単元導入時には学習内
容が明示され、児童が見通しをもって学習に取り組めるようになって
います。2年間を通して、自分のこと→地域→日本→世界へと視野が
広がる設定になっていることも評価が高いポイントの一つです。写真
や図が豊富で、行間や図、写真の配置にもゆとりが感じられました。
巻末には、学習した表現を書いて残すワークシートが用意され、学年
末に自分の学びを振り返ることができます。各単元に様々な外国語圏
の子どもたちの生活や文化について理解を深める活動が設定されてい
ます。環境問題や防災教育など現代的な諸課題についても取り上げら
れており第二地区の観点に合致したものと言えます。デジタルコンテ
ンツは速度選択、字幕選択、文字の読み上げ、読み上げ文字の色変化
など多数の配慮ポイントが見られます。また、言語活動のモデル動画
では、話し方の例だけでなく、聞き手の反応例も示されておりコミュ
ニケーション能力育成にとって効果的と評価できます。教科書に書き
込む活動が少ないことが指摘されましたが、ワークシートのダウンロ
ードや指導上の工夫で解消できると考えられます。

総合的に判断した時に、「光村図書」がオールマイティで、バランス
がとれていることから、最も優れているという結果になりました。以
上です。

教育長 事務局からは「光村図書」という報告でしたが、ただ今、外国語についての説明がありましたが、ご質問、ご意見はございませんか。

野口委員 質問の前に私はいろんなことを思いました。本当に素晴らしいたぐさんの教科書を見させていただきましたけど、やっぱりこれは時代の変化を物語るものだと痛切に感じました。

甲賀市の教育大綱の中にもグローバル人材ということが取り組まれているので、大事な内容だなと思います。どの教科書も、私が感激したのは、単に外国語を英語だけではなくてスペイン語も他もそうですけど、外国語の学習は、ただ言語の習得だけ、4技能の習得だけではないというのが感じられました。それだけではなくてやっぱりその言語の背景になっているいろんな異文化の尊重とか、理解とか、それだけで終わったらもったいない。自分の国、日本の文化、それを見ましようという機会も与えられてることをすごいなと私は思いました。実際調査委員会の中ではいろんな特徴、視点が出てきたと思うんですが、特徴を教えてください。

次長（学校教育担当） 各社とも、異文化理解のポイントについては十分な紙面を使って構成されていきました。世界や日本の「名所・名物マップ」を取り上げたり、日本の文化などに魅せられて海外から仕事を通して学びに来ている人たちの紹介、オンライン体験旅行など児童の興味・関心を高める内容が見られたりしました。中でも「光村図書」では、話すなどの活動の前に、その内容に関連して世界の友達が話す映像が紹介されたり、「まとめ」の段階では相互理解のため違いを認め合う詩を作る教材として金子みすゞさんの詩が取り上げられたりしていることに対して評価の意見がありました。

教育長 他にご質問、ご意見はございませんか。

池田委員 小学校の児童の英語ということで、ここから長く続く英語学習の入口だと思います。そのあたりの観点から、新しい言葉では違和感を覚えたり拒絶感を感じてしまう心配があります。これから先、長く続いていく中で、配慮が必要だと思うんですけどもその点について、どのような配慮がなされているのでしょうか。

次長（学校教育担当） その点に関しましては、どの教科書会社も英語嫌いにさせない工夫がなされています。読む、書く、聴く、話すなどいろいろな学習がありますが、特に子どもたちにとっては「話せる」ことは、魅力であり大きな武器であるといえます。身近な生活の中から必然性をもった場面設定を行うことや、会話によって相手とつながる満足感を味わうことが、外国語、英語を有効なツールとして実感することになると意見が交わされていました。

教育長 事務局からは視野が順次広がっていく配置であるとかデジタルコンテンツの問題であるとか、オールマイティでバランスが取れている点から「光村図書」だという報告がありました。他にご質問、ご意見はございませんか。

特にないようですので、次に道德の説明を事務局からお願いします。

次長（学校教育担当） 続きまして道德です。別紙2では、85ページからをご覧ください。

道德は、発行された教科用図書は6社。調査観点が9観点です。調査の結果、9観点中、「日本文教出版」はAが5個、「東京書籍」と「光村図書」は4個、「学研」は3個、「光文書院」は2個、「教育出版」は1個となり、「日本文教出版」が最も良い評価となりました。2番目にA評価が高かったのは「東京書籍」と「光村図書」です。評価の高かった3社についてご報告いたします。

「日本文教出版」は、「いじめの防止」が最も重要なテーマとして位置づけられています。挿絵のわかりやすさや、登場人物の明記を含めて発達段階に即した学習活動への配慮があり、特に入学当初の学習では、読むこと、書くことの負担が軽減されて学びやすくなっています。末尾には二つの発問が書かれており、学習活動を促し、わかりやすい構成となっています。滋賀県に関する教材が他社より多く、5年生では琵琶湖フローティングスクールが取り上げられています。また、本出版社の特徴である「道德ノート」では、自分の考えを書いたり、学習や自己を振り返ったりすることができるものです。現行の道德ノートから、より使いやすいものに改善され、児童の実態に即した学習展

開が期待できるものとなっています。

続いて「東京書籍」は、現代的課題が5つのユニットで構成され、コラム数、詩や歌なども幅広くとりあげています。また、イラストにはジェンダーレスの視点から描かれていることにも注目されました。教材文のはじめに内容に関する問いかけがなく授業者の学習展開に自由度が持てます。教材文の後ろには「考えよう」というポイントが2つ示されており、量的にも、内容的にも適切だと考えられます。

デジタル資料が充実しており、QRコンテンツは自由度が高く、どの子にも使いやすいものとなっています。特に支援を要する児童にも適していると考えます。

「光村図書」は、現代的な課題については、教材とコラムを組み合わせたもので、低学年は2つ、ほかの学年は4つのユニットとして編集されています。このユニットを通して、発展的な学習活動を展開させながら、多面的、多角的な道徳の学習が深められるようになっております。また、教材は、対話の力をはぐくむ流れが組み込まれ、話し合う活動が行いやすくなっています。4年生では、「びわこ環境美化活動」を話題とし、滋賀県の郷土教材「琵琶湖のごみ拾い」が配置されています。作者が、第二採択地区の湖南市在住者であったり、「びわこの日」に、どの学校も環境美化活動が取り組まれていたりすることから、親しみやすい教材であるといえます。

そこで、第二採択地区の状況、課題といったものなどがいかに盛り込まれているか、さらには、人権に関する視点やジェンダーに関する視点、グローバルな社会に関する視点など、現代的な問題についての取り扱いはどうかについて協議された結果、「日本文教出版」が最も優れているという結果になりました。

教育長 それぞれのいいところ、地域教材の取り扱いであるとか考慮され、道徳についての説明がありました。ご質問、ご意見はございませんか。

教育長職務代理者 毎回出ることですけれども、道徳ノートは必要か必要でないかというところで、例えば「日本文教出版」のこの道徳ノートでは大分

見た感じ、以前よりは大分シンプルになってる印象は受けるんですが、今回は道徳ノートについてほかに何かご意見出ましたでしょうか。

次長（学校教育担当） 現行の道徳でも、道徳ノートについても活用が図られています。ノートの活用は、自らの考えや思いを整理したり、振り返ったりする目的や評価にも繋がります。自由な思考を表現できるために、現行の内容をより改善し、あまり型にはまった発問よりも主発問を一つに考え、あとについては、自由に使えるなど、授業のねらいに沿って考え、活用できるノートが良いのではないかということでした。縛りがとれ、授業者が発問を工夫し記録として残していくことができるという道徳ノートの存在が評価されて優れているという声がありました。

教育長 ノートについて質問がありました、ほかに質問はありますか。

野口委員 色々見させていただいて、一つは意見ともう一つは質問をしたいと思います。私が心に残ってるのはこの教科書の裏の面ですね。この保護者の皆様に心を込めて書いてある言葉は学校だけじゃないんだなどお母さん、お父さんをおじいちゃん、おばあちゃん、家の人を大事にしながら対話的な活動というのを広げてるのはすごいと思いました。素晴らしい会社であります。それから、もう一つはデジタルコンテンツが先ほどから出てますが、その活用については特にどのような意見が出ていたでしょうか。

次長（学校教育担当） いずれの出版社も使い勝手はよく、ワークシートや、朗読、興味を高める動画やイラストなどが用意され、価値の方向付けや、自らを振り返る際には大変効果的な内容となっていました。中でも「日本文教出版」は「心情メーター」が用意され、心情の変化、葛藤の度合いを可視化させながら、自らの価値に対する考え方や、仲間との交流の際に効果的に活用できるツールが見られました。

教育長 各社それぞれの良さがあると報告を受けましたが、第二採択地区にかかる部分で「日本文教出版」にまとまりましたが、他にご質問、ご意見はございませんか。

特にないようですので、次に小学校特別支援学級で新たに選定され

た使用図書について事務局から説明をお願いします。

次長（学校教育担当） 特別支援学級の使用図書につきましては、事前にも目を通していただいておりますが、まず小学校特別支援学級で新たに選定されました使用図書について説明いたします。別紙1では7ページから、別紙2では、93ページからをご覧ください。

特別支援学級で使用するものについては、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学省著作本と検定本以外にも、絵本などの一般図書からも選定することができます。来年度新たに使用する図書については、網掛けで区別をしています。

まず、小学校についてであります。知的障害学級用については、別紙1の7ページの社会科において網掛けをしております『はじめての日本のれきしえほん』また、別紙1の8ページの外国語科において網掛けをしております『CDつき楽しく歌える英語のうた』の2冊が新たに選定されました。選定理由は、前者は初めて歴史を学ぶ児童にとって、それぞれの時代がイメージしやすい構成となっていることに加え、解説も拡大した挿絵や簡単な言葉で示されており、興味をもって学習に取り組める工夫がされているということです。後者は、知的学級で外国語を学ぶにあたっては、視覚や聴覚、体全体を使って楽しく学ぶことが子どもたちにとって大切となります。CD付きであることから、容易に感覚を刺激しながら学ぶことができ、歌の世界をイメージしやすいイラストともに、英語と日本語がわかりやすく記述されていることも適切と考えました。

なお、弱視学級については、外国語において通常学級で採択された教科用図書の拡大版と全教科において文部科学省著作本であります点字版の教科用図書を選定しています。以上です。

教育長 　　ただ今、小学校特別支援学級の新たに選定された使用図書についての説明がありましたが、ご質問、ご意見はございませんか。

藤田委員 　　知的特別支援学級で学んでおられる児童は、特性なり障害から来る難しさがあって、それも度合いや程度、それぞれの知的の難しさがいろいろ幅広くあります。そのあたりでは、支援のいる子どもたちは、

自分の経験みたいなところを力として持っておられるので、一概にこの教科書の一つ使ってさあみんなで使いましょうというわけにはいかないところがあるかと思えますけれども、その辺では、この教科書選定されるにあたっては、どのようなポイントを考えられて選ばれていたのかなというのをちょっとまたお聞かせください。

次長（学校教育担当） 選定は大きく3つのポイントを念頭において進めたと報告を受けています。一つ目は、学習指導要領に示された教科の目標や内容の主旨、学習活動の狙いを踏まえているか。二つ目は児童の発達段階に対応し、親しみを持って意欲的に取り組めるかどうか。最後に三点目は、事象や題材の意味が理解しやすく、社会の営みと児童の生活実態をつなげて取り扱っているか、という以上3つのポイントにおいて選定を進めたと報告を受けております。

教育長 選定されたポイントについては3点ということで報告がありました。ほか、ご意見よろしいでしょうか。それでは、次に中学校特別支援学級で新たに選定された使用図書について事務局から説明をお願いします。

次長（学校教育担当） 続いて、中学校特別支援学級使用図書の一覧は、別紙1の14ページから、別紙2では、113ページからをご覧ください。

知的障害学級用については、別紙1の14ページにて、社会科において網掛けをしております『楽しんで学んで力がつく！子ども世界地図』と、『はじめての日本のれきしえほん』の2冊、そして理科「科学のなぜ？新図鑑』の計3冊が新たに選定されました。選定理由として、現在使用図書3冊が供給不能になったことによる追加となります。『楽しんで学んで力がつく！子ども世界地図』は、単なる地図帳とは異なり、世界を地球という視点からまとめていて、幅広い知識がテーマ別に掲載されています。『はじめての日本のれきしえほん』は、日本の歴史の移り変わりを、効果的にイラストと短い文章で表し、支援を必要とする生徒が学ぶ上で適切であると判断しました。この本は小学校でも選定されていますが、支援学級の幅広い発達段階にある生徒の指導に適した図書であり、中学校においても学習に活用できると考えまし

た。

なお、弱視学級については、道徳科において通常学級で採択された教科用図書の拡大版と全教科において文部科学省著作本であります点字版の教科用図書を選定しています。以上です。

教育長 　ただ今、中学校特別支援学級の使用図書についての説明がありましたが、ご質問、ご意見はございませんか。

(全委員 意見なし)

教育長 　なお、中学校の通常学級における使用教科用図書におきましては、令和2年度に採択した教科用図書を引き続き使用することになりますのでお知りおきください。

このことについてご意見はございますか。

(全委員 意見なし)

教育長 　それでは全体を通しまして、何か意見はございませんか。

特にないようですので、採決を行いたいと思いますが、どういった方法で採決をさせていただいたらよろしいでしょうか。

教育長職務代理者 　非常にたくさんの教科について議論をさせていただきまして、お話を聞かせていただきましたし、第二採択地区協議会の選択教科書について異論のような意見はございませんでしたので、一括でいかがかなと思いますが、いかがでしょうか。

教育長 　今、教育長職務代理者から一括して採決したらどうかという意見がありました。特に異議ございませんか。

(全委員 異議なし)

教育長 　それでは事務局からの案を復唱させていただきます。

小学校通常学級のもので、国語「光村図書」、書写「光村図書」、社会「日本文教出版」、地図「帝国書院」、算数「大日本図書」、理科「東京書籍」、生活「東京書籍」、音楽「教育芸術社」、図画工作「日本文教出版」、家庭「開隆堂」、保健「東京書籍」外国語「光村図書」、道徳「日本文教出版」、特別支援学級知的障害児学級社会『はじめての日本のれきしえほん』、外国語『CDつき楽しく歌える英語のうた』、中学校知的障害児学級社会『楽しんで学んで力がつく！子ども世界地図』、『はじ

めての日本のれきしえほん』、理科で『科学のなぜ？新図鑑』、以上について審議をいただきました。

それでは、議案第75号「令和6年度甲賀市立小中学校使用教科用図書の採択について」原案のとおり、可決することに賛成の方は、挙手を願います。

(全委員 賛成)

全員、賛成でありますので、「令和6年度甲賀市立小中学校使用教科用図書の採択について」は、原案のとおり可決することとします。

それでは、以上をもちまして、令和5年第10回甲賀市教育委員会臨時会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

[閉会 午後 4時47分]